

夏がやって来たよ  
海水浴場海開き



◎もくじ (2012年6月号)

- 2 湯北地区排水機場完成
- 3 御立岬ビーチサッカー
- 4 H23 財政事情公表  
／H23 町長交際費公表
- 6 まちのわだい
- 10 土砂災害などに注意

- 12 第2次芦北町地域福祉計画・  
芦北町地域福祉活動計画策定
- 13 「地引網・たこつぼ体験」募集  
／グラウンド・ゴルフ大会結果
- 14 保健センターだより  
／おれんじ鉄道フォトコンテスト

- 15 芦北に残る文化遺産  
／景さんの芦北チヨアチヨア記
- 16 お知らせ
- 18 警察署／消防署
- 19 書道・短歌／出生・おくやみ
- 20 金環日食／ビーチバレー in くまもと  
／星野富弘美術館だより

# 念願の湯北地区排水機場が完成



湯浦地区において、念願の排水機場が完成し、5月17日、地元住民も含め約100人が出席して安全祈願祭と竣工式が行われました。

これまで湯浦地区の排水対策は自然排水しかありませんでした。そのため、近年の集中豪雨などにより、湯浦川の水位が上昇した際には雨水などの排水ができず、道路の冠水や家屋の床上、床下浸水被害が頻繁に発生する状況でした。特に主要



▲ポンプ起動式後に施設内で排水の様子を見学する出席者

道路の国道3号は、梅雨、台風時期には幾度となく浸水し、通行止めを余儀なくされ、地区住民はもとより町内外の人に多大な影響を与えていました。このような浸水被害の解消を図るため、芦北町は国や県と協議を重ね、平成18年度から浸水被害対策事業に着手してきました。総事業費6億8千983万円をかけたようやく今回の落成となりました。

竹崎町長は「湯北地区は地形的に湯浦川の計画水位高よりも地盤の低い場所があり、浸水被害が頻発していました。この排水機場の完成により、増水時にはその能力を遺憾なく発揮してくれるものと期待しています」とあいさつ。湯浦地区を代表して宮島昭典湯北地区長は「本日は地区住民の長年の夢が実現しました。心から待ち望んでいた排水機場の完成は万感胸に迫るものがあります」と謝辞を述べました。

施設の敷地面積は600㎡で、管理棟と常用発電機2基を備え、口径800ミリの排水ポンプ2台を設置しています。ポンプの排水能力は2台で1分間に180トンです。また、水が一定の水位を超えると自動的に機械が作動し強制排水する設備となっています。

## 御立岬ビーチで熱戦

### 地球環境スポーツ ビーチサッカーフェスティバル2012



海水浴シーズン前の御立岬海水浴場で5月26日、27日の2日間、「ビーチサッカーフェスティバル2012」が開催されました。今年で13回を数える本大会は一般（チャンピオンクラス、フレンドリークラス）、女子、小学生、中学生の5部門に総計89チーム約1,000人が参加し、砂の上で熱い戦いが繰り広げられました。「地球環境に優しく」をテーマに行っているため、2日間とも試合開始前に選手全員でクリーン作戦を行い、また、ごみの持ち帰り運動も呼びかけました。

1日目は曇り空で時折冷たい風が吹き、観戦していた人は肌寒いくらいでしたが、2日目は真夏を思わせるさんと輝く太陽の下での大会となりました。

砂の上での競技なのでオーバーヘッドキックやボレーシュートなど豪快で華麗な技が多く見られました。一方で普段砂の上でのプレーに慣れていない選手たちが足を取られてプレーが思うようにできなかったり、つまずいたりする光景に、チームメイトや観客も楽しんでいました。

- 【大会結果】  
 (町内関係チームのみ掲載)
- ◆一般の部
    - チャンピオンクラス
      - 3位 mas que nada ASHIKITA
      - ◆中学生の部
        - 3位 佐敷中学校 A

### 3 公営企業会計の執行状況

水道会計の平成23年度の当初予算は、3億918万円で前年度比15.4%減となっています。  
平成23年度の事業量 給水戸数：3,557戸 年間総給水量：1,061,237m<sup>3</sup> 一日平均給水量：2,900m<sup>3</sup>

科目	収 入			支 出		
	予算額	収入済額	執行率	予算額	支出済額	執行率
収益的収支予算	1億6,205万円	1億5,739万円	97.1%	1億5,130万円	1億3,863万円	91.6%
資本的収支予算	1億600万円	4,047万円	38.2%	1億8,148万円	4,406万円	24.3%

※収益的収支予算：水を供給するための予算、資本的収支予算：水道施設を造るための予算

### 4 基金の状況

基金は、家計の預金に相当します。一時的な財源不足の調整や災害など緊急時の財政需要に対応する「財政調整基金」、将来行う事業に充てるために積み立てる「町有施設整備基金」、「まちづくり振興基金」などがあります。

基金名	H23	H22
財政調整基金	14億5,618万円	14億5,594万円
町有施設整備基金	7億1,192万円	4億1,156万円
まちづくり振興基金	6億30万円	4億円
国保財政調整基金	5億595万円	5億561万円
社会福祉振興基金	4億3,634万円	4億3,614万円
土地開発基金	2億4,006万円	2億4,006万円
九州新幹線濁水等被害対策基金	1億6,533万円	1億7,321万円
その他	3億8,003万円	3億9,337万円
合 計	44億9,611万円	40億1,589万円

### 5 町有財産の状況

区 分	H23	H22
建物	15.0ha	14.9ha
土地および山林	1026.7ha	1026.4ha
証券その他の権利	3億2,286万円	3億2,286万円

区 分	H23	H22
臨時財政対策債	37億9,159万円	35億3,603万円
土木債	18億4,207万円	21億9,770万円
農林水産業債	14億94万円	15億5,637万円
農業集落排水事業債	13億6,081万円	14億4,342万円
教育債	10億7,393万円	11億3,212万円
公営住宅債	6億4,984万円	7億622万円
消防債	5億373万円	5億8,220万円
減税補てん債	4億4,764万円	5億5,267万円
災害復旧債	2億2,156万円	2億6,551万円
総務債	3億3,598万円	2億4,236万円
その他	6億3,054万円	7億7,795万円
合 計	122億5,863万円	129億9,255万円

### 6 町債、一時借入金の状況

#### (1) 町債

町債とは、町の借金のことです。道路、学校、住宅の建設など、世代間の負担を均等化する役割もあります。平成23年度の町債元利償還金は14億6,417万円ですが、うち11億273万円が地方交付税に算入されています。

#### (2) 一時借入金

一時借入金は、資金繰りのための短期の借入金です。平成23年度の借入金はありません。

### 平成23年度 町長交際費の公表

町長交際費は、町政の円滑な執行を図るため、外部との交際を行う目的で支出する経費です。支出については、社会通念上、妥当な範囲で必要最小限にとどめるよう配慮しています。

町長交際費には、企業などが行う取引先への接待費（飲食費）などは含まれていません。公益に資する（芦北町の発展に役立つ）ように、公的な活動を

円滑に遂行するべく町民の皆さんのために活用されています。

※芦北町の特産品を全国にPRしたり、全国各地からのお客さまに芦北町を宣伝してもらったりするために支出しています。また、芦北町を代表（町長および町長代理）して出席する会議などの会費の支出などにも使われています。

#### 平成23年度町長交際費支出一覧

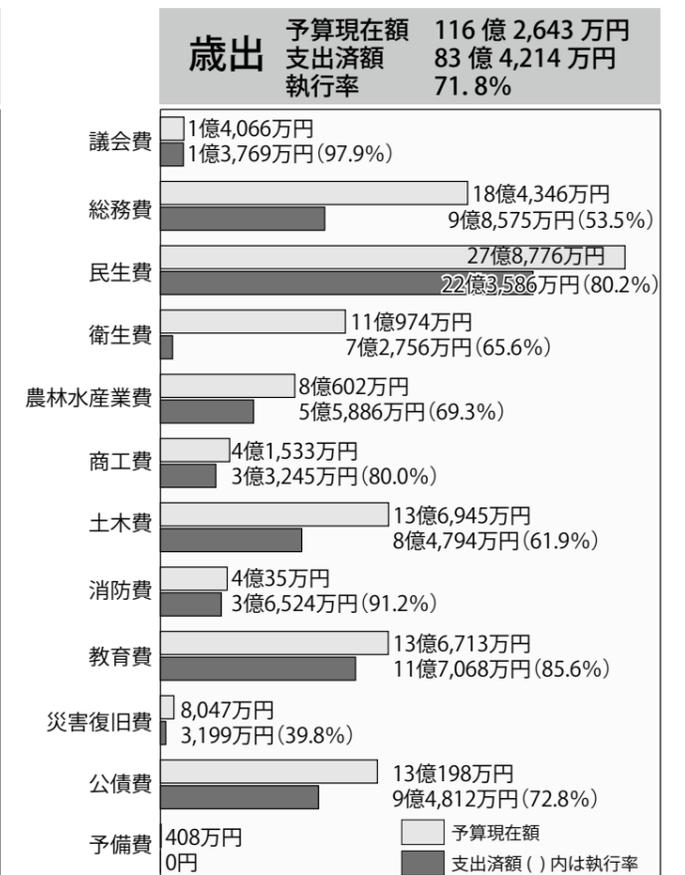
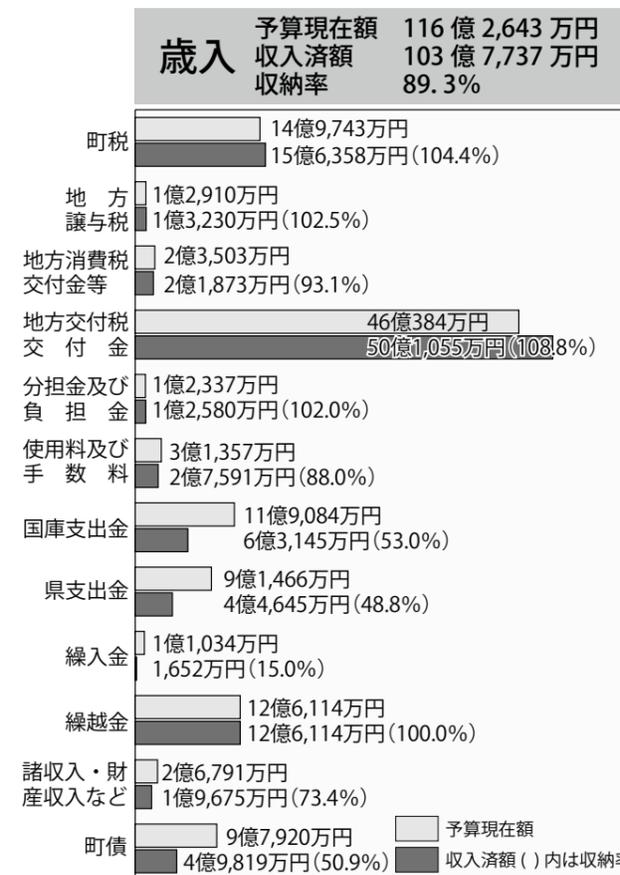
項目	支出額(円)	件数	内 容
特産品	1,092,118	285	町外からの訪問者に対する町PR品の配付や出張時における訪問先への土産品
香典	356,275	40	町の発展・振興に功績があった人に対する香料や生花代
御樽	221,948	22	町の事務事業と密接に関わる公共的な団体に対する御樽
会費	124,000	20	円滑な町政運営に資する会議、会合、研修会への参加に係る経費
見舞	45,000	5	町政関係者の病氣、災害などの見舞いに係る経費
御祝	231,100	18	記念行事、式典、祝賀会などに際しての祝いに係る経費
その他	200,034	15	上記の区分に掲げるもの以外で特に必要と認められるハガキなどの経費
合 計	2,270,475	405	

# 財政事情公表

皆さんの納めた税金などがどのような形で、どのような目的に使用されているか、町の運営状況を理解していただくために町では、毎年6月と12月に「財政事情」を公表しています。  
今回は3月31日までの財政状況をお知らせします。

## 1 一般会計執行状況

一般会計とは、町の運営に必要な基本的な経費を計上した会計のことです。平成23年度の当初予算は97億6千400万円です。下半期に4回、4億4千645万円の補正を行い、通年での補正予算総額は6億7千510万円となりました。最終的な予算総額は104億3千910万円（繰越含む予算額116億2千643万円）となりました。  
現年度分と前年度からの繰越額を合わせた予算現額と執行状況は下表のとおりです。



## 2 特別会計執行状況

会 計	予 算	収入済額	支出済額
国民健康保険事業（事業勘定）	33億3,061万円	26億8,887万円	30億3,946万円
国民健康保険事業（直診勘定）	8,164万円	3,687万円	6,300万円
介護保険事業	19億6,508万円	16億2,930万円	17億3,721万円
簡易水道事業	8,867万円	8,063万円	5,257万円
農業集落排水事業	2億1,820万円	5,995万円	1億8,349万円
生活排水処理事業	5,730万円	3,426万円	4,964万円
町有温泉事業	1億2,043万円	6,188万円	1億583万円
奨学資金貸付事業	2,870万円	3,027万円	1,004万円
後期高齢者医療事業	2億5,235万円	2億3,457万円	2億1,833万円
合 計	61億4,298万円	48億5,660万円	54億5,957万円

### 今年もいい焼酎ができました



焼酎とともに芦北の名が全国に広がるように祈願しました

芦北産特製自酒「葦分」と「夢あしきた」の平成24年度の初荷式が5月25日、大関山山頂の大関神社で開催されました。初荷式は大関神社に酒の神様として知られている大山津見神（おおやまつみのかみ）がまつられていることから行っているもので、今年で11回目を迎えました。式では焼酎の製造元である織月酒造(株)の堤正博社長から本年度第1号瓶が竹崎町長に手渡されました。今年は「葦分」、「夢あしきた」合わせて総製造本数1万7千本が販売されます。6代目杜氏（とうじ）、馬場裕次さんから「米をはじめとした素晴らしい芦北産の原料を使って、すっきりした味わいのいい焼酎ができました」と報告がありました。

### 県大会準優勝 田浦中野球部

第29回全日本少年軟式野球熊本県大会が、5月12日から26日に開催され、各郡市を勝ち抜いた32チームが水前寺野球場を主会場に熱戦を繰り広げました。

葦北郡代表として出場した田浦中野球部は、2回戦と準々決勝で優勝候補の熊本市勢2校に1点差で勝利し、準決勝では千丁中に4対1で快勝しました。合志中との決勝戦は息の詰まる投手戦が続きましたが、0対1で惜しくも破れ、準優勝に終わりました。

インフルエンザや故障者が続出する中、選手たちは最後まで決して諦めない素晴らしい試合を披露してくれました。今後の活躍が期待されます。



準優勝した田浦中野球部のメンバー

### まちをきれいに 芦北支援学校生が美化活動

花岡の町宮射場団地前の地下道周辺をきれいにしようと芦北支援学校高等部佐敷分教室の生徒11人が5月28日、クリーン作戦を行いました。この活動は、生徒が普段よく利用する場所をきれいにしようと、佐敷分教室が開校した昨年度から行っているもので、これまでに地下道周辺や佐敷駅などを清掃しています。

今年度最初の活動となったこの日は竹ぼうきやデッキブラシなどを使って木の葉や枝、砂などで散らかっていた箇所を約1時間清掃しました。生徒たちは「いつも通っている場所がきれいになりよかったです。溝の隅々まで掃除を頑張りました」と清々しい笑顔で話してくれました。



通学路の地下道周辺を隅々まできれいにしました

### きれいな自然を子どもたちに



美しい海岸を清掃する委員の皆さん

芦北町民生委員児童委員協議会（坂口健一会長）が5月10日、鶴ヶ浜海水浴場とマリンパークビーチ周辺の清掃を行いました。毎年5月12日から18日が「民生委員・児童委員の日 活動強化週間」になっていることから協議会は毎年この期間に合わせて清掃活動を行っています。

この日は民生委員児童委員56人が参加し、漂着した木片や遊歩道に落ちた木の葉などのごみ約220kgを集めました。坂口会長は「毎年多くの親子連れでにぎわう海水浴場がきれいになってよかった。ここは景色もよく、清掃活動に参加したみんなの気持ちもよくなりました」と話しました。

### 人権の輪を広げよう

花を育て、やさしい心を育んでもらおうと5月14日、「人権の花」種子伝達式が佐敷小学校で行われました。式には八代人権擁護委員協議会の委員と法務局や町職員、佐敷小全校児童、先生たちが参加しました。協議会が佐敷小にひまわりやマリーゴールドなどの花の種を贈呈しました。花の種は児童が育てます。育った種は児童が書いたメッセージと一緒に今年中に風船に付けて飛ばし、人権の輪を全国に広げる予定です。

式終了後には人権イメージキャラクターの人KENまもる君が登場し「きれいな花を育ててください」と児童にお願いしました。



人KENまもる君は佐敷小の子どもたちに大人気でした

### 「40年の絆 さらに未来へ」 芦北ロータリークラブ

芦北ロータリークラブ（矢野徹会長）の創立40周年記念式典が5月19日、しろやまスカイドームで開催されました。芦北ロータリークラブは1972（昭和47）年に25人で創立し、国際交流活動への支援や清掃活動などを行ってきました。現在は27人で活動しています。

式典で矢野会長は「これからも地域社会に必要とされる組織として活動していきたい」とあいさつしました。40周年を記念して7月完成予定の女島活力推進センターに設置するソーラー時計と特製ベンチ5台を町へ寄贈し、また、東日本大震災義援金として50万円を寄附しました。



式典には八代、人吉、水俣など各地から200人以上のロータリー会員が集まりました

### 募金のお礼に来庁 心臓手術を受けた福島浩さん



藤崎副町長と元気に握手をする福島浩さん（写真左）と福島さんの両親（後方中央）、田口さん（後方右）

心臓移植手術を受けた福島浩さん（27歳、大阪市）が募金のお礼を伝えようと6月1日、両親や「浩君を救う会」の田口幸則会長や支援者と町役場を訪問しました。福島さんは14歳の時に拡張型心筋症を発症。浩さんの父、敬さんが横居木出身であることから、敬さんの同級生有志が平成19年に心臓移植を支援しようと町内の物産館や役場、農協などで募金活動を行っていました。浩さんは臓器移植法の改正により平成22年9月に国内で手術を受け、今では病前と変わらない生活を送っています。浩さんは「芦北の皆さんに大変感謝しています。皆さんに直接お礼を申し上げたい気持ちでいっぱいですが、時間がないので代表して役場へお礼に伺いました」と話しました。

### 今年もいっぱい泳ぐぞー

毎年多くの海水浴客でにぎわう鶴ヶ浜海水浴場で6月1日、海開きの安全祈願が行われました。海水浴シーズンの安全と多くの海水浴客でにぎわうことを祈願する神事後、佐敷小学校4年生39人が一斉に海に飛び入りました。児童たちは「最初は冷たかったけど動いていると気持ちいい」と引率の先生が帰りの声をかけるまで水しぶきをかけあったり泳いだりして、プール開きよりも早い初泳ぎを楽しんでいました。

昨年は約10万人の海水浴客が御立岬海水浴場、鶴ヶ浜海水浴場、マリンパークビーチ、萩の越海水浴場を訪れています。



歓声を上げながら海に疾走する佐敷小の子どもたち

### 藤井瑞希さんを応援しましょう 後援会設立発会式

ロンドンオリンピック女子バドミントンダブルスに出場する藤井瑞希さんを応援しようと6月1日、後援会発会式が役場で行われました。式では後援会役員が選出され、後援会の発起人竹崎町長が会長に就任しました。

この日は芦北町バドミントン協会など26競技の芦北町内の体育協会などが集まり、藤井さんに激励のメッセージを届ける署名活動を行うことと日章旗と芦北町旗への寄せ書きを添えて手渡すことが決定されました。署名活動は多くの町民に協力してもらえよう広く募集しています。



「町民一丸となって藤井さんを応援しましょう」と竹崎町長（後援会会長）があいさつしました

### 岩手県の小中学校を タマネギで支援



佐敷小、吉尾小児童と佐敷中生徒と交流を図る目的も兼ねて実施したタマネギ収穫

東日本大震災で被災した岩手県大槌町の小中学校に自分たちが育てたタマネギを贈ろうと5月31日、佐敷小児童5・6年生が収穫を行いました。佐敷小は昨年大槌町の小学校に絵本を贈ったのを機に交流しています。同じものを食べてお互い元気になりたいとの思いからカレーの材料であるタマネギを贈りたいと（株）それいゆアグリ（高峰博美社長）に相談すると畑を貸してもらうなどの協力を得ました。この日収穫を行ったのは佐敷中の生徒や吉尾小の5・6年児童、同じ敷地でタマネギを栽培している芦北高農業科の2・3年生やJAあしきた職員など総勢250人。早速、この日に箱詰めした約600kgの芦北産タマネギは、大槌町の小中学校や給食センターに送られました。

### サラダタマネギで カンボジアに学校を贈ろう

大野小児童が育てたJAあしきたの特産品「スーパーサラたまちゃん」の販売を5月29日に行いました。大野小を代表して5・6年生23人がファーマーズマーケット「でこぼん」、芦北町役場、県地域振興局の3班に分かれて販売を実施。「でこぼん」では正面入り口前で「カンボジアに学校を建てるために協力をお願いします」と大きな声で来店する人に声を掛け、販売しました。

大野小児童はサラたまちゃんの植え付け、草取り、収穫、袋詰めを行い、この日3カ所で用意した1袋5kg700円の158袋を完売しました。売り上げた収益金はカンボジア学校建設のために使われます。



「でこぼん」前でサラダタマネギを販売する大野小児童。多くの方が購入しました

### みんなで歯みがきチェック

芦北町保健センターが子ども向けの歯みがき教室を5月28日、芦北幼稚園で行いました。最初に町民有志のボランティア団体、健康お助け隊（横山照子代表）のメンバー6人が歯みがきしないと虫歯になるという人形劇を披露しました。その後、栄養士による歯みがき講習が行われ、歯ブラシを持った園児たちは虫歯にならないように一生懸命ブラッシングの指導を受けていました。横山代表は「子どもたちがこの人形劇を見て歯みがきを実践してもらえるのが楽しみで14年間活動しています」と話していました。子どもたちは「人形劇が面白かったです。これから歯みがきを頑張ります」と感想を話してくれました。



栄養士の指導を熱心に聞き、ブラッシングの練習をする園児たち



# 危険信号をキャッチしたら!

山くずれのおそれがある箇所では、テレビなどの気象情報に注意しましょう。

## すぐ避難!

危険を感じたら早めに指定された場所へ避難しましょう!



## すぐ通報!

災害が起こったら、すぐ110番か119番に通報しましょう!



あぶない!! 災害の危険がある場所には近づかないようにして下さい!



## ふだんから

家族や地域ぐるみで山くずれのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。



土砂災害などの危険から身を守るのはあなた自身です。危険な箇所を点検し、防災情報を収集するなど普段の生活の中で確認しておくことがたくさんあります。「自分の命は自分で守る」という気持ちで日頃から備えておくことが大事です。

# ふだんから確認!

## 6月は土砂災害防止月間です

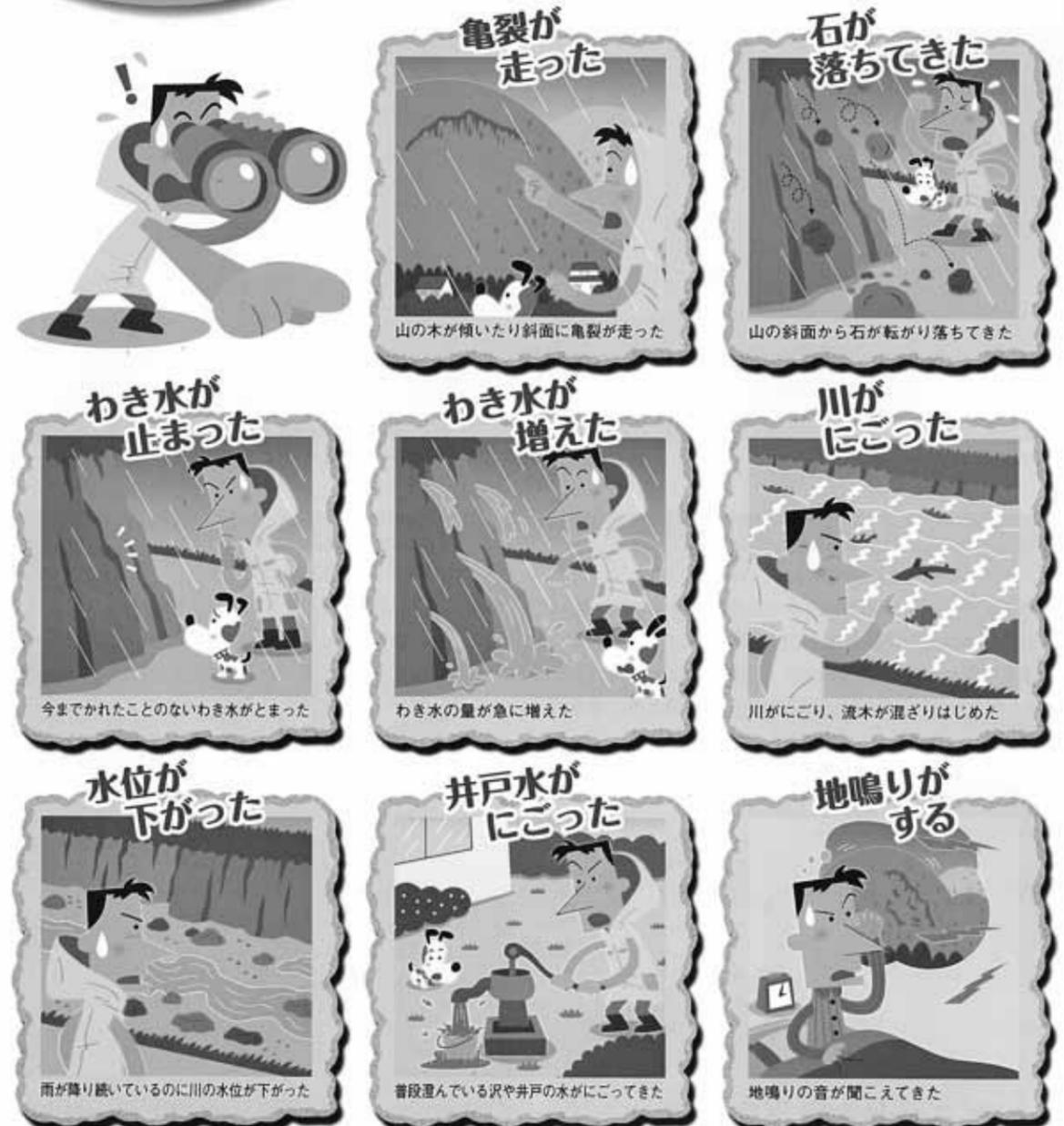
山崩れが起こる場所、危険箇所をよく注意してみると、危険信号と思われる変化がある場所が多くあります。ふだんから注意してみておきましょう。

また、避難場所や避難経路についても日頃から家族や地域で確認しあうとともに降雨時にはテレビなどの気象情報に十分注意を払いましょう。

# 山地災害の危険信号を見逃すな!

## 8つの危険信号に注意して下さい。

山地災害が起こる場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、多くの場合、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。特につぎの8つの危険信号に注意して下さい。



## 災害時には 役場・区長へ連絡を

町では、台風や集中豪雨などにより災害が発生した場合に備え、災害現場をいち早く把握し迅速に対処するために、町内各地に災害調査員(町職員)を配置しています。

災害調査員は、公共土木施設災害や農林水産業の被害、人的被害、建物被害などの被害状況の確認を各区長と連絡を密に取りながら調査を行います。

災害が発生した場合には、役場または各区長へご連絡ください。



▲災害調査員説明会 (5月24日)

## 第2次芦北町地域福祉計画 芦北町地域福祉活動計画を策定

芦北町では、住民一人一人が自立した生活を送ることができるよう、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者などがさまざまなネットワークを創り、つながり、助け合い、支え合いなど福祉活動の啓発推進を目的に平成24年度から平成28年度の5年間を目標とした「芦北町地域福祉計画」を策定しました。

### 芦北町地域福祉計画

#### 【計画の基本理念】

芦北町地域福祉計画では、芦北町総合計画の主旨に基づき、人と人とのつながりが希薄化しているという社会環境の中、全ての住民は地域福祉の利用者であり、地域福祉活動の担い手でもあるという「共助の心」を育て、お互いを認め合い、支え合うための活動が、人や組織をつなぐ多様なネットワークを通じて展開される地域社会を目指し、『共助の心で みんなで取り組む やさしいまちあしきた』を基本理念とします。

#### 【芦北町地域福祉計画】

##### 【基本理念】

共助の心で みんなで取り組む やさしいまちあしきた

##### 【基本目標】

町民の支え合いによるまちづくり

地域福祉の担い手づくり

生活に根ざした福祉の推進

安心して暮らせるまちづくり

##### 【基本施策】

- 地区ワークショップの継続的開催
- 地区単位地域福祉ネットワークの構築
- 地域の交流の場づくりの推進
- 地域による子育ての推進
- 町単位地域ネットワークの構築
- 地域のつながりの強化
- ボランティアセンターの機能強化

- 地域に眠る人材の発掘、育成
- 地域福祉リーダーの育成
- 福祉教育の推進
- 生涯学習の推進

- 総合的な相談体制の充実
- 福祉サービスの充実
- 福祉サービス情報の提供
- 地域福祉活動の拠点の整備

- 地区防災体制の充実
- 災害時要援護者支援の推進
- 地域の子育て支援
- 誰もが快適な環境づくり

### 芦北町地域福祉活動計画

芦北町地域福祉活動計画は地域福祉を推進する民間レベルの活動・行動計画で、芦北町社会福祉協議会が地域の人々とともに推進していくものです。

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体と位置付けられている社会福祉協議会が、町が策定した芦北町地域福祉計画の基本理念に基づき『芦北町地域福祉活動計画』を策定しました。「社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助」、「社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整および助成」、「その他社会福祉を目的とする健全な発達を図るために必要な事業」の取り組みを推進します。

#### 計画の推進・評価体制

両計画は、町民、地域組織、社会福祉協議会、芦北町などが協働で進める計画です。本計画の取り組みを効果的に推進するため、「芦北町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会」を設置し、毎年度、芦北町および芦北町社会福祉協議会の施策・事業の評価結果を含めた現状確認や進捗状況、また今後の推進方法や対策などについて総合的に検討します。

## 「地引網・たこつぼ体験」 講座参加者募集

近年は、自然の中で遊ぶ子どもたちを見かけることが少なくなりました。芦北町では子どもたちが昔ながらの遊びの中で自然を体感し、環境への意識を高めてもらうとフィールドミュージアム事業に取り組んでいます。



この事業の一環として今回は「地引網・たこつぼ体験」を行います。芦北町で古くから行われている地引網漁を体験しながら、漁の歴史や海のことを学んでみませんか。

▼日時 6月30日(出)

～7月1日(回)(2日間)  
午前10時～午後3時30分

※希望者は宿泊可。ご相談ください。

▼場所 御立岬海水浴場

▼対象者 小学生以上

▼募集人員 100人程度

▼参加費 無料(宿泊希望者は別途)

▼宿泊料が必要(別途)

▼申込締切 6月22日(金)

※弁当の予約も受け付けます。

(1個500円)

\*申込・問い合わせ先

御立岬公園管理事務所

☎(87)0737

#### ▲▲▲▲▲ 昨年の地引網体験



## 芦北町 グラウンド・ゴルフ大会結果

●開催日 5月13日(日)

●場所 岩崎グラウンド

◆成績(敬称略)

Aコート

1位 大谷孝(芦北)

2位 山下利明(大岩1)

3位 福島純博(田浦2)

Bコート

1位 森隆夫(芦北)

2位 大谷とも江(芦北)

3位 杉村清樹(花岡西)

Cコート

1位 中山健司(小田浦4)

2位 杉村守好(花岡西)

3位 川元マサ子(波多島)

Dコート

1位 村中津根子(白岩)

2位 坂道達(小田浦4)

3位 宮崎好美(白木)

Eコート

1位 山下平四郎(計石西)

2位 野田タエ子(小田浦5)

3位 中川光子(小田浦2)

## 平成24年度 町民体育祭大会結果

### 【グラウンド・ゴルフ】

●開催日 5月24日(木)

●場所 岩崎グラウンド

◎男子

◆優勝 田浦体協

2位 湯浦体協

3位 佐敷体協

4位 大東体協

◎女子

◆優勝 湯浦体協

2位 大東体協

3位 田浦体協

4位 佐敷体協



約250人が参加した芦北町グラウンド・ゴルフ大会

◇総合優勝：村中津根子(各コート1位5人によるホールインワン勝負で決定)

# 食育月間

みんなで「食」の  
大切さを考えよう

毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です。

熊本県では平成23年3月に策定した「くまもと 食で育む命・絆・夢プラン（熊本県健康食生活・食育推進計画）」に基づき、皆さんの健康食生活・食育の推進が図られるようさまざまな取り組みが行われています。

「食」について正しい知識を身に付け、日ごろの食生活を見直してみよう。



## 食育で身に付けたい5つの力

### ①望ましい食を選択する力

自分で食べ物を選ぶ力は生きるうえで欠かせない力です。  
”好き”だけで選ぶのではなく、“バランス”を考えた選ぶ方を習慣付けましょう。



### ②食材の味が分かる力

味覚は、幼いころから、どれだけ自然の食べ物をお口にしたらかよって味覚が変わります。素材そのものの味、天然だしの良さをもう一度考えましょう。調理中の味見は一番の方法です。



### ③料理する力

自分の口に入れる物を自分でつくることは大切なことです。五感を総動員させる料理は、想像力や集中力だけでなく、物事を計画的に進める力も育てます。

### ④食に感謝する力

自分を育てる食べ物、土、水、空気、太陽とともに自然の中で息づきながら育った過程を知ること、おのずと食べ物に対する感謝の気持ちを持つことにもつながります。

### ⑤元気な体の調子が分かる力

いつも元気でいられるように、体をコントロールする力は大切です。“うんこ”は体調のバロメーターで、食べ物と深い関係にあります。「早寝・早起き・朝ごはん（快便）」を心掛けましょう。

食育で身に付けた5つの力を普段の食生活に生かすことで、健康で豊かな食生活を実現することができま

す。生命の基本である「食」。食育月間をきっかけとして、一人一人ができることから始めてみてはいかがでしょうか。

\*問い合わせ先  
保健センター

☎(86)0200

## 肥薩おれんじ鉄道 フォトコンテスト

思い出の写真とコメントを募集中です。懐かしい写真や自慢のショット、心温まるエピソードなど、ご応募ください。採用作品は、おれんじ鉄道の駅や車内で紹介します。

### ▼募集内容

①肥薩おれんじ鉄道・旧鹿児島本線にまつわる思い出の写真②肥薩おれんじ鉄道・旧鹿児島本線にまつわる思い出のコメント(100文字以内)③肥薩おれんじ鉄道・旧鹿児島本線にまつわる思い出の写真とコメント(コメントは100文字以内)

### ▼応募方法

①応募いただく写真のサイズは5MB以内とします。画像形式は、JPEGのみ。②次の必要事項を記入のうえ、郵送または電子メールにて応募ください。作品タイトル、コメント(100文字以内) 撮影場所と撮影日、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、年齢、職業、電話番号

▼応募締切 7月13日(金)

\*問い合わせ先  
肥薩おれんじ鉄道 おれんじ色の  
思い出プロジェクト選定委員会  
☎096(333)2167  
電子メール:koutsuseisaku@  
pref.kumamoto.lg.jp

## 芦北に残る文化遺産

### ⑬ 佐敷東の城跡

(町指定史跡  
平成24年3月30日指定)



▲佐敷東の城跡の位置

今回指定された「佐敷東の城跡」は、戦国時代に肥後南部を支配した相良氏が葦北郡支配の拠点としたと考えられています。広さが「佐敷城」の2倍以上あり、山上と周辺の尾根には曲輪(くるわ)や堀切(ほりきり)、切岸(きりぎし)Ⅱ山の斜面を急角度に削ったもの)などの遺跡の構造が良好に残されています。特に山の斜面を波トタンのようにでこぼこに削って造られている畝状竪堀群(うねじょうたてぼりぐん)の確認例は、県内では人吉城に続いて2例目で、国内の南限とされています。

今回は新しく指定された文化財の2つ目「佐敷東の城跡(さしきむがしのじょうあと)」を紹介します。

この城は、加藤清正によって築かれた国指定史跡の「佐敷城」から花岡北方面に見える標高159.4mの城山(じょうやま)にあります。

この城山には、大関山から分霊された山の神が祀られており、4月には乙千屋・花岡北・花岡東・諏訪・宮浦の地区の皆さんが集まってお祭りが行われています。

## 景さんの 芦北チョアチョア記

(第1回)

アンニョンハセヨー芦北町国際交流員 李允景(イ・ユンギョン)です。景(けい)と呼ばれています。韓国から芦北に来て1年が経ちました。最初、芦北に到着した時はすごく緊張した記憶が昨日のようです。時の流れは早いものですね。芦北町の仕事や生活など全てが初挑戦ということで心配や不安もありましたが、町民の皆さんからとても優しくしていただき、韓国語講座、国際交流まつり、学校訪問、文化講座など、さまざまな国際交流事業に携わることができました。沢山の人たちとふれ



▲韓国文化を紹介する講座は多くの受講生で大人気



▲韓国の民族衣装を着る李さん(写真左)

あい、芦北町の生活を満喫していたら、あっという間に1年が過ぎました。そして、また今年度もお世話になることになりました。2年目である今年は、昨年度よりも趣向を凝らした韓国料理教室や韓国文化体験などを企画し、もっと楽しい国際交流ができるよう頑張りたいと思います。たくさんの方の参加や応援、よろしく願います。これから毎月、本紙において私の活動や韓国のお話などを紹介していきたいと思います。そして、芦北町国際交流協会のホームページ(http://www.ashikokukyou.com)に協会主催のイベントなどを更新しておりますので、興味ある人はぜひのぞいてみてください。皆さんと楽しく国際交流できればと思っています。よろしく願います。

\*題名のチョアとは韓国語で「好き」、「いいね」という意味です。

肝炎ウイルスの無料検査を実施します

7月23日(月)～29日(日)は「肝臓週間」です。肝炎ウイルス検査を受けたことのない人はぜひこの機会に検査を受けてください。B型肝炎やC型肝炎は肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。感染しても自覚症状がほとんどないため、気付かないうちに感染し、肝硬変や肝がんへと進行している可能性があります。熊本県では、各保健所や県内640の医療機関で肝炎ウイルスの無料検査を実施しています。検査を受けたことのない人は、早めに検査を受けましょう。検査は採血だけです。短時間で終了します。なお、県では肝炎インターフェロン、核酸アナログ製剤治療の医療費を助成しています。\*問い合わせ先 水俣保健所 ☎(63) 4104

肝炎サロンの開催

肝炎患者やその家族が互いに気軽に話せる場所を提供し、肝炎治療などについての情報交換を通して、不安や悩みを解消することを目的として「肝炎患者サロン」を開催します。今回も肝炎治療についての話を

準備しています。入場無料で事前の申し込みは不要です。\*日時 7月26日(木) 午後1時30分～午後4時

◆内容 専門医から肝炎の最新治療の話、自由に情報交換する「語らいの時間」など

◆場所 熊本県八代地域振興局 5階大会議室 \*問い合わせ先 熊本県健康危機管理課 ☎096(333) 2783

平成24年度 男女共同参画週間

毎年6月23日から6月29日は、「男女共同参画週間」です。今年度の男女共同参画週間は、「男女共同参画による日本再生」を重点とします。キャッチフレーズは、「あなたがいるわたしがいる 未来がある」です。人口減少・高齢化が進む中で、東日本大震災からの復旧・復興、日本経済の再生など、さまざまな課題の解決を迫られる我が国において、女性が社会のあらゆる場面に参画し、その能力を発揮することが、ますます必要とされています。 私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか。 \*内閣府男女共同参画局ホームページ http://www.gender.go.jp/

熊本県男女共同参画 アドバイザー派遣

熊本県では、事業所、団体、NPOなどが、社員や会員を対象に主催する啓発行事や研修会、講座などに、男女共同参画に関する専門家をアドバイザーとして派遣します。 ◆派遣対象 事業者などが所属の職員や従業員、構成員などを対象として行う研修会などで、参加者が20人以上のもの。ただし、参加費などを徴収して行う有料のものは対象としない。 ◆内容 (例)・男女共同参画一般 ・仕事と家庭の両立支援 ・セクハラに関すること など

◆申込方法 県ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/134/adviser24.html)に掲載されている申請書に必要事項を記入のうえ、県男女参画・協働推進課または 県地域振興局へ提出してください。 \*問い合わせ先 熊本県男女参画・協働推進課 ☎096(333) 2287

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

6月25日～7月1日は、「子どもの人権110番」強化週間です。通話料は無料で、相談内容について

の秘密は堅く守られます。 \*日時 6月25日(月)～6月29日(金) 午前8時30分～午後7時 6月30日(土)～7月1日(日) 午前10時～午後5時

▼相談内容 いじめ、暴力、虐待、体罰など子どもをめぐるさまざまな人権問題

▼相談担当者 人権擁護委員 法務局職員 \*相談専用電話 ☎0120(007) 110

※熊本地方事務局では、月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分に同じ専用電話で相談に応じています。

農林水産物などの販路拡大をお手伝いします

熊本県では、商談会や熊本フェア・研修会などの販路拡大に関する情報を、電子メール(FAXの登録も可)で配信するサービスを行っています。受信するには事前登録が必要です。県内に在住し、主たる事務所を県内に置く人、また県産農林水産物またはこれを原材料とした商品の販売を行う人なら、どなたでも無料で登録できます。詳しくはお問い合わせください。 \*問い合わせ先 熊本県農林水産部流通企画課 ☎096(333) 2395

平成24年度 国家公務員採用試験

国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)と一般職試験(社会人試験(係長級)、税務職員採用試験を実施します。 \*受付期間

○インターネット 6月26日(火)～7月5日(木)

○郵送・持参 7月2日(月)～7月10日(火)

▼第1次試験日 9月9日(日) \*問い合わせ先 人事院九州事務局 ☎092(431) 7733 http://www.jinji.go.jp/

放送大学10月生募集

放送大学では、平成24年度第2学期(10月入学)の学生を募集しています。放送大学はテレビやインターネットを通して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で幅広い世代、職業の人が学んでいます。心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。 ◆出願期間 8月31日(金) \*資料を無料で差し上げています。お気軽に請求ください。放送大学ホームページでも受け付けています。 \*問い合わせ先 放送大学熊本学習センター ☎096(341) 0860

労働安全衛生法に基づく各種免許試験

免許試験受験申請書の請求は、必要部数と試験地が熊本である旨を明記したメモ書きを添えて、部数に応じた額面の切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号)を同封のうえ、九州安全衛生技術センターへお申し込みください。

熊本県男女共同参画 アドバイザー派遣

熊本県では、事業所、団体、NPOなどが、社員や会員を対象に主催する啓発行事や研修会、講座などに、男女共同参画に関する専門家をアドバイザーとして派遣します。 ◆派遣対象 事業者などが所属の職員や従業員、構成員などを対象として行う研修会などで、参加者が20人以上のもの。ただし、参加費などを徴収して行う有料のものは対象としない。 ◆内容 (例)・男女共同参画一般 ・仕事と家庭の両立支援 ・セクハラに関すること など

◆申込方法 県ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/134/adviser24.html)に掲載されている申請書に必要事項を記入のうえ、県男女参画・協働推進課または 県地域振興局へ提出してください。 \*問い合わせ先 熊本県男女参画・協働推進課 ☎096(333) 2287

全国一斉「子どもの人権110番」強化週間

6月25日～7月1日は、「子どもの人権110番」強化週間です。通話料は無料で、相談内容について

なお、受験申請書を提出される際は、試験の種類に応じて所管の機関へご提出ください。 \*申請書請求先 (財)安全衛生技術試験協会 九州安全衛生技術センター 〒839-0809 福岡県久留米市東台川5丁目9-3 \*切手代は、1部200円、2部240円、3～5部390円、6～10部580円です。 \*申請書提出先

◆第一種衛生管理者・第二種衛生管理者・潜水士 (社)熊本県労働基準協会 〒861-5535 熊本市北区貢町691-1 ☎096(245) 7821 ◆一級ボイラー技士・二級ボイラー技士 (社)日本ボイラ協会熊本支部 〒862-0971 熊本市中央区大江6-24-13 天神コーポラス2階 ☎096(362) 7775

▼受付期間 6月21日(木) ～7月4日(水)必着 \*手数料 6,800円

▼試験期日 8月26日(日) \*試験会場 崇城大学情報学部(F号館) 熊本市西区池田4-22-1

※免許試験は、例年2月に実施していましたが、平成24年度は8月実施

社会教育センター展示室 案内

社会教育センターの展示室では、自主講座の作品を展示しています。【翠流会による水墨画】 \*期間 7月4日(水)～8月3日(金) \*問い合わせ先 芦北町社会教育センター ☎(82) 2213

熊本県では 水俣病被害者に対する 救済の申請を受け付けています 申請の受付期限 7月31日(火)まで 郵送の場合、当日消印有効

田浦子育て支援センター 7月の行事

- 5日(木) プール開き
11日(水) 野菜スタンプで遊ぼう
13日(金) すいか割り
17日(火) クッキングを楽しもう
24日(火) 身体測定・誕生会
26日(木) シャボン玉遊び
※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。
◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日 午前9時30分～正午 午後2時45分～午後5時15分
\*問い合わせ先 田浦子育て支援センター ☎(87) 0034

# 芦北警察署

☎(82)3110



## 飲酒運転には厳しい罰則が!

飲酒運転による交通事故は、罰則強化や各方面の取り組みによって減少傾向にあります。依然として悲惨な事故が後を絶ちません。飲酒運転を根絶するために一人一人が「飲酒運転をしない、させない」という強い意思を持つことが必要です。

### 運転者本人への罰則

- ▼【酒酔い運転】5年以下の懲役または100万円以下の罰金
- ▼違反点数 35点
- ▼免許取消（欠格期間3年）
- ▼【酒気帯び運転】3年以下の懲役または50万円以下の罰金
- ▼呼気中アルコール濃度
  - ◎0・25mg以上
  - 違反点数 25点
  - 免許取消（欠格期間2年）
  - ◎0・25mg未満
  - 違反点数 13点
  - 免許停止（90日）
  - ▼【呼気検査拒否】3カ月以下の懲役または50万円以下の罰金



### 車両の提供者への罰則

- ▼【酒酔い運転】5年以下の懲役または100万円以下の罰金
- ▼【酒気帯び運転】3年以下の懲役または50万円以下の罰金

### 酒類の提供者・車両の同乗者への罰則

- ▼【酒酔い運転】3年以下の懲役または50万円以下の罰金
- ▼【酒気帯び運転】2年以下の懲役または30万円以下の罰金

# 芦北消防署

☎(82)4731



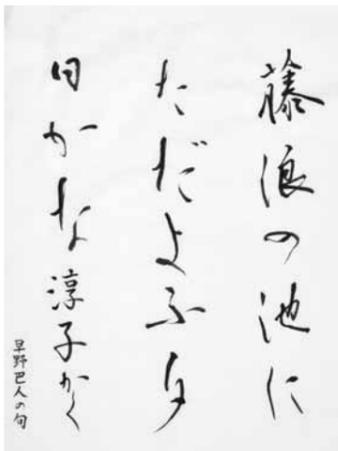
これから風水害の発生しやすいシーズンを迎えます。台風情報や気象情報は事前にチェックすることが大切です。また、最近では短時間に狭い範囲で集中豪雨が発生し、過去に被害がなかった住宅地などでも浸水被害を受け可能性があります。毎年、激しい雨や強風によって、屋根や外回りの補強や見回りをする人が負傷していますのでご注意ください。平時に備えをしておくことが被害の軽減につながります。次のチェック表で、家庭や地域で風水害対策に備えましょう。

## 台風シーズン前のチェック項目

- ▶**屋根**
  - 瓦やトタンのはがれ、ひび割れの確認と補修
  - テレビのアンテナをしっかりと固定する
- ▶**窓ガラス**
  - ひび割れの補修や雨戸で強風による飛来物に備える
- ▶**ベランダ**
  - 物干し竿や植木鉢などは強風で飛ばされる場合があるので室内へ移動する
- ▶**家の周辺**
  - 自転車やガスボンベは転倒する場合がありますのでしっかりと固定する
  - 側溝や排水溝を清掃して雨水の通り道を確保する
  - 強風で倒れそうな樹木がないか確認する

今年も早いもので半年が過ぎました。もう6月です。あとしばらくすると夏祭りシーズン到来です▼夏といえば海水浴。芦北町内の海水浴場の海開きが6月1日にありました。鶴ヶ浜海水浴場での海開きは、いつも計石小学校児童が参加していましたが、計石小が3月に閉校になったため、今年初めて佐敷小児童が参加しました。子どもたちは大はしゃぎで海に入っていました。海に入る写真を撮ろうと待ち構えている報道陣に水しぶきをあげながら猛ダッシュ。さらにこちらに海水を掛けてきます。おかげで私もびしょ濡れになりました▼この海岸を海開きの20日ほど前に民生委員児童委員56人が清掃しました。集まった委員の中には「こんなにきれいな場所が芦北にあるんだ」と感動する人もいました。「この素晴らしい芦北の自然を子どもたちに残すために清掃活動は続けなければならぬ」と毎年思いながら活動しています」と坂口健一会長。我々も子どもたちに自然や伝統文化などを伝えていく使命を感じさせられた言葉でした。(寺川)

## 書道(かな)



(早野巴人の句より)

本山 淳子

## 短歌

【芦北短歌会】

いただきし手摘みの新茶今年また夫と二人で飲む幸せよ  
鳥居 静子  
金婚式一月あとに控えしを逝きたる夫への思いひとしお  
宮島 住子  
玄関の隙間に生えし山椒の枝代りたれど春また芽ぶく  
四宮 和江  
朱鷺の雛成長伝える画面消え童巻被害大きく映る  
米良 佑子  
数日來の雨上がりたる塀際の荒草抜けば  
吉田 ミホ

【田浦荘短歌会】

この春は桃も桜も紅梅も一度に咲いて里にぎにぎし  
福井 朝子  
草むらのみどりの風に吹かれつつめぐる白蝶花のごとしも  
野浦 悟  
気象異常の季節変りの雨降れば農はあわてて田づくり初む  
川中ハル子  
家にてテレビ見ている間にも夕餉の献立考えている  
中原キクエ  
花菖蒲・白芍薬は島津家の千巖園に咲き乱れいる  
迫本 浩美

## お誕生おめでとう

H24.5.1～5.31 受付分(敬称略) 受付件数 12件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
中原 凛子	4.25	女	辰 祐	田浦2
毛利 元氣	4.29	男	和 成	高岡北
才藤 玲実	5.1	女	忍	天月
溝侯 陽大	5.7	男	圭 一	小田浦5
大谷 優	5.15	男	嘉 彦	芦北
荒木 美里	5.16	女	利 之	平生
平野 望菜	5.17	女	義 成	田浦町1
緒方 龍斗	5.17	男	広 徳	沖
町田 唯人	5.19	男	敬	湯浦南

※本町窓口へ届出をした人で、承諾を得た人を掲載しています。町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

## ご冥福をお祈りします

H24.5.1～5.31 受付分(敬称略) 受付件数 25件

氏名	死亡日	年齢	区
一谷 英雄	5.3	76	市野瀬
木場 ミヨ子	5.5	71	小田浦7
杉村 金義	5.8	83	花岡西
森 スミエ	5.9	100	小田浦5
松浦 清勝	5.11	91	向町
農田 マリ子	5.12	65	小田浦2
篠原 スエミ	5.12	85	田浦町3
田畑 繁	5.13	95	乙千屋
波口 邦男	5.14	71	海浦2
杉本 秀典	5.14	46	海浦2
杉本 ムツ子	5.14	78	海浦2
桑鶴 ツネコ	5.17	97	海浦1
渡辺 美奈子	5.17	76	古石南
松本 昌子	5.19	80	上町
遠山 征男	5.20	68	市野瀬
福山 功	5.24	92	高岡北
川尾 博子	5.24	76	小田浦2
俣川 ユキノ	5.24	78	小田浦5
山下 九十九	5.25	90	田浦3
西 美智子	5.25	83	道川内東
吉本 哲郎	5.28	88	新町
元山 吉夫	5.29	81	小田浦2

※本町窓口へ届出をした人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

## 人口の動き (H24.6.1現在) ( )内は前月比

人口	19,632人	(-22)
男	9,168人	(-6)
女	10,464人	(-16)
65歳以上	7,058人	(-2)
世帯数	7,594世帯	(-6)



▲雲間からうっすらと見えました(午前7時29分頃)



▲日食が見えた瞬間、集まった約200人から歓声と拍手が起きました

# 芦北でも見えた 世紀の天体ショー

日本中が注目した5月21日の金環日食。芦北町でも芦北星を見る会(中山幹男代表)が芦北町地域間交流スポーツグラウンド駐車場で観測会を開催しました。

20日夜の予報では芦北地方の当日朝の天気は曇り。しかし当日午前5時頃は小雨が降っていました。観測会の会場では天空は厚い雲に覆われているにもかかわらず、朝6時頃からだんだん人が集まり始めました。小学生や保護者はこの日のために準備した観測メガネを手に一向に見えない太陽を待ち続けました。芦北星を見る会は、太陽を確認できな

い事態に備えて、現在の日食の状況をシミュレーションした映像を見ることができ、パソコンを用意していました。金環日食が始まる午前7時23分頃は依然として太陽を確認できなかったため、会場に集まった多くの人はパソコンの前で金環日食に見入っていました。それから約2分後、「見えたー。あそこあそこ」と声が上がりました。よく見るとうっすらと丸い形が見えました。「おーっ」とどよめきが起こり、拍手が起きました。

「雨が降って心配しました。ここに集まったほぼ全員が日食を見れないと思っていた中で、どよめきが起きた時には感動しました」と中山代表。芦北町での天体ショーを確認した人はどのくらいでしょうか。芦北星を見る会によると次に芦北町で金環日食が見れるのは300年後の2312年4月8日です。

## 第25回 ビーチバレー in くまもと

7月7日(土)、8日(日)

- ◆ 予選大会
  - 7月7日(土) 鶴ヶ浜海水浴場、マリンパークビーチ
  - 開始式 午前9時
  - 試合開始 午前9時30分
- ◆ 決勝大会
  - 7月8日(日) 鶴ヶ浜海水浴場
  - 開会式 午前8時45分
  - 試合開始 午前9時30分



**薩摩街道ふるさと湯の香ぎゃらりー**  
湯浦活性化協議会が湯浦地区に展示している町民の皆さんが製作した作品を紹介します。

◇夏の常設展  
○期間 9月9日(日)まで  
○休館日 第2・4月曜日  
○開館時間 午前9時～午後5時  
\*問い合わせ先  
星野富弘美術館  
☎(86)1600



▲「アルストロメリア」1990年

**芦北町立星野富弘美術館だより**  
「自然のままに咲いている花を、そのまま描けば、きつといい絵が描けると思った」星野さんのじっくり見て、ゆっくり描いた作品たち。夏の常設展では、厳選した絵をご紹介します。